

## 次期学習指導要領のめざすところ

北海道高等学校教育研究会地歴・公民部会長

(北海道札幌あすかぜ高等学校長) 湯 浅 純 人

昨年の12月に、中央教育審議会から次期学習指導要領に関する答申が公表されました。

これからの時代に求められる資質・能力を、①「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「学びに向かう力・人間性等」の三つの柱に具体化し、②資質・能力を育む学習方法として「課題を追求したり解決したりする活動」と明記し、さらに③そうした活動を生かす視点や方法として「社会的な見方・考え方」を位置付けました。

すでに各種メディアを通じて報じられていますが、今回の改訂の主たるターゲットは高校であり、中でも地歴・公民は全科目が新設科目になるなど、大きく変容します。全体の特色を確認しますと、第一に、必修科目として、地歴科に「地理総合」と「歴史総合」、公民科に「公共」が、いずれも標準2単位の科目として設置されます。第二に、選択科目として「地理探究」、「日本史探究」、「世界史探究」、「倫理」、「政治・経済」が、いずれも探究科目として設置されます。第三に、大半の生徒は必修科目だけで地歴・公民の学習を終えて次のステップに進むと想定されることから、「地理総合」、「歴史総合」、「公共」を通して、求められる資質・能力を育成することが課題になると考えられます。また、今回の答申に謳われた「社会に開かれた教育課程」や「カリキュラム・マネジメント」の実現は、大学進学実績といった近視眼的な目的のためではなく、これからの時代を生きていく資質・能力を、学校と家庭・社会が共有し一体になってその育成にあたるために生かしていくべきものと考えます。

今回の改訂の趣旨を生かして資質・能力を育むためには、従来型のトーク&チョークの授業から抜け出し、生徒の主体的・対話的で深い学びを促す必要があります。主体的学びは、生徒任せにすることからは生まれません。生徒の学びへの動機付けや方向付けのための教師の指導が不可欠です。また、対話的学びも単なるグループ学習等での形式的な話し合いではなく、より深い学びを意味しています。その点で、今回の改訂で重視されているのが、各教科固有の「見方・考え方」です。例えばそこに地理や歴史があるから教え、学ぶのではなく、地理的な「見方・考え方」や歴史的な「見方・考え方」を働かせて思考・判断・表現し、教科固有の知識・技能を獲得することが、これからの社会に求められる資質・能力として重要だからこそ教え、学ぶということです。アクティブ・ラーニングを形骸化から守り、内容の伴った学びとするために「見方・考え方」の役割は大きいと考えます。

私たちは、責任を持って、変化が激しく予測の難しいこれからの社会を生き抜いていく力を、生徒達に育成していかなければなりません。その意味でも、ますます地歴・公民科のはたす役割は重要になってきています。多くの地歴・公民科の教師の皆さまに研究会にご参加いただいて、今、私たちに求められているものは何かを議論し、これからの理想的な地歴・公民科教育の実現をめざして努力していきましょう。

# I 平成29年度高教研地歴・公民部会役員一覧

役 職		氏 名	学 校 名
部 会 長		湯 浅 純 人	札幌あすかぜ高校
副 部 会 長		後 藤 哲	札幌東高校
		岡 積 義 雄	札幌清田高校
		本 間 敦 志	札幌真栄高校
監 事		矢 橋 佳 之	札幌英藍高校
		小 林 孝	大麻高校
運営委員	世 界 史	斎 藤 修	札幌月寒高校
		榑 原 康 文	札幌大通高校
	日 本 史	岡 師 広 光	北広島西高校
		岩 間 洋 之	札幌西高校
	地 理	鈴 木 良 伸	札幌月寒高校
		吉 井 優 紀 彦	札幌東陵高校
	現代社会	高 梨 晃 弘	札幌西高等学校
		吉 川 敦 巳	千歳北陽高校
	倫 理	渡 邊 昭 博	札幌手稲高校
		倉 部 英 利 子	大麻高校
政治経済	藤 倉 水 緑	札幌清田高校	
	庄 司 健 浩	恵庭南高校	
事務局	局 長	濱 名 一 博	札幌あすかぜ高校
	次 長	小 池 和 夫	
		能 登 聖 教	
	経 田 利 宏		
	白 井 雅 己		
	川 村 裕		
	菊 地 誠		
	鈴 木 盛 之		
	早 川 剛		
	佐 藤 由 香 子		
杉 村 康 弘			

## Ⅱ 平成29年度高教研地歴・公民部会(教科別集会)のご案内 ～ネットワークを作り、授業力を高めましょう！～

### 1 研究主題

(1) 平成29年度地歴・公民部会研究主題

「課題意識を持ち、主体的に学び考える力を育む学習指導の工夫・改善」

(2) 平成29年度専門部(分科)会研究主題

ア 世界史：生徒の主体的取組を促し、課題意識を育む授業の創造  
 イ 日本史：日本史教育の今日的課題と学習指導の工夫・改善  
 ウ 地理：地理教育の未来を育む授業創造と評価法の工夫・改善  
 エ 現代社会：現代社会教育の今日的課題と授業・評価の工夫・改善  
 オ 倫理：持続可能な社会を担う人間を育成する倫理の授業展開  
 カ 政治経済：確かな学力を育てる「政治・経済」学習指導の工夫・改善

2 期 日 平成30年1月11日(木)

3 会 場 北海道札幌あすかぜ高等学校  
〒006-0860 札幌市手稲区手稲山口254番地

TEL 011-694-5033

FAX 011-694-5074

4 内 容 (時間帯は予定)

9:00	9:30	10:20	10:30	12:30	13:30	15:30	15:50
受付	開会式 総会 各研究会紹介 (体育館)	休憩	講 演 ・各分科会ごと (使用教室は当日案内)	昼 食	研究発表・協議 ・各分科会ごと (使用教室は当日案内)		閉 会 式

5 講演・研究・司会・記録の依頼 分科会運営委員が依頼しますので、ご協力をお願いします。

### 6 交通機関

- (1) ジェイ・アール北海道バス「第一鳥居前・手稲駅北口・星置駅北口」から、「札幌あすかぜ高校」行きスクール便
- (2) ジェイ・アール北海道バス「手稲駅北口」から(手41)「手稲山口団地」行、「曙通」下車(徒歩15分)
- (3) ジェイ・アール北海道バス(宮44手稲駅南口・曙通経由)「地下鉄宮の沢駅」「札幌あすかぜ高校前」下車
- (4) 手稲駅からのタクシー利用 約4km 15分 1500円程度

※ あすかぜ高校の駐車場は、運営者・講師以外の駐車スペースはほぼありません。できるだけ公共の交通機関をご利用ください。

### 7 研究紀要55号の執筆依頼

- (1) 教科に関するもので、25,000字以内(25文字×1,000行)です。  
(詳細は会報105号に記載)
- (2) 申込みは、平成29年8月25日(金)までに事務局(あすかぜ高校)へ論文概要を送付してください。  
なお、執筆のための研究調査経費を地歴・公民部会から一部補助することができます。詳しくは事務局にお問い合わせ下さい。

### Ⅲ 地歴公民科 各種研究会(夏の研究会)のご案内

～互いに学び、情報を交換し、夏に教科の力をつけていきましょう！～

研究会名称	<b>北海道高等学校地理教育研究会</b>		
会長名	宮田 日出夫 (北海道有朋高等学校長)	事務局長	佐久間 直 樹
事務局	北海道札幌新川高等学校	札幌市北区新川5条14丁目1-1	TEL 011-761-6111
夏季研究会 のご案内	期 日	平成29年8月1日(火)～8月2日(水)	会 場 幌延町・豊富町
	○研究主題	参加料 10,000円(含宿泊費)	
	「エネルギー問題のこれから～核のゴミはどこへ～」		
	○概 要 福島原子力発電所の事故以来、全国の原発は一斉に創業を停止し、泊原発再開のめどは立っていない。しかし、その施設内には数万年規模で管理しなければならないエネルギー源が横たわっている。最終処分場は国内のどこかに深地層埋設処理をすることでここまで来たが、場所の選定は未決のまま。幌延は、その意味で一番の処理施設として組み込まれてしまうのではないかとの危惧は誰もが持つであろう。その実態を見つめ今後のエネルギー事情を深地層350mの地下空間に降りておりて考えましょう。豊富温泉の魅力を知りましょう。		
	○主要内容 1日目…巡検A(幌延町 深地層研究センター(ゆめ地創館)見学、トナカイ牧場視察、オトノルイ風力発電所説明と見学) 宿泊:豊富温泉ニュー温泉閣 2日目…巡検B(豊富温泉の案内・見学)		
	※6月30日で参加者募集は締め切りました。		

研究会名称	<b>北海道高等学校世界史研究会</b>		
会長名	橋本 達也 (北海道釧路湖陵高等学校長)	事務局長	今井 一 吉
事務局	北海道苫小牧西高等学校	苫小牧市青葉町1丁目1番1号	TEL 0144-72-3003
夏季研究会 のご案内	期 日	平成29年8月4日(金)	会 場 札幌市教育文化会館
	○研究主題	参加料 2,000円	
	「国際理解を進め、歴史的思考力を育成するための世界史教育」		
	○講 演 (1)「イスラーム世界と日本～イブラヒムの活動から考える」 講 師 小松 久 男 氏 (東京外国語大学教授)		
	(2)「実施可能な歴史総合カリキュラム案の検討」 講 師 油 井 大 三 郎 氏 (東京大学名誉教授 高大連携歴史教育研究会会長)		
	○研究協議		

研究会名称	<b>北海道高等学校日本史教育研究会</b>		
会長名	石黒 清 裕 (北海道札幌旭丘高等学校長)	事務局長	幡本 将 典
事務局	市立札幌大通高等学校	札幌市中央区北2条西11丁目	TEL 011-251-0229
夏季研究会	期 日	平成29年8月3日(木)	会 場 かでる2・71060会議室
	○9:30～総会、10:00～講演	参加料 2,000円	
	○講 演 (1)「酒呑童子と頼光四天王～坂東武士論の再構築」 講 師 鈴木 哲 雄 氏 (北海道教育大学札幌校教授)		
	(2)「中世百姓のリテラシー」 講 師 坂 田 聡 氏 (中央大学教授)		
	○15:40～第3回幹事会		

研究会名称	<b>北海道高等学校「倫理」「現代社会」研究会</b>			
会長名	元紺谷 尊 広 (北海道稚内高等学校長)	事務局長	江 尻 憲 昭	
事務局	北海道大麻高等学校	江別市大麻ひかり町2番地	TEL 011 - 387- 1661	
夏季研究会 のご案内	期 日	平成29年8月7日(月)	会 場	かでの2・7 730 研修室
	参加料		参加料	2, 000円
○研究主題 「新科目『公共』と今後の公民科教育」 ○午前 (1)「道外視察報告」 ① 全公社研千葉大会(千葉) 高 谷 康 博 氏(岩内) ② 日本社会科教育学会(青森) 佐 藤 克 宣 氏(岩見沢東) (2)「実践事例集刊行報告」佐 藤 克 宣 氏(岩見沢東) 「実践事例集実践発表」横 山 茂 氏(札幌啓成) ○午後 (1)「講演」テーマ「新科目『公共』における倫理的テーマの背景」 講師 一ノ瀬 正樹 氏(東京大学大学院人文社会系研究科教授) (2)「研究協議」テーマ「新科目『公共』を含めた公民科教育の今後」				

研究会名称	<b>北海道高等学校政治経済研究会</b>			
会長名	後 藤 哲 (北海道札幌東高等学校長)	事務局長	伊 藤 智 大	
事務局	北海道千歳北陽高等学校	千歳市北陽2丁目10番53号	TEL 0123 -24 -2818	
夏季研究会 のご案内	期 日	平成29年8月4日(金)	会 場	ホテルライフオーブ札幌
	参加料		参加料	2, 000円
○研究主題 「北海道の未来を担う高校生のために、私たちは今、何ができるか」 ○講演(10:00~12:00) 演 題 「高校の授業で役立つ経済学」 講 師 大 竹 文 雄 氏 大阪大学社会経済研究所教授 NHK Eテレ「オイコノミア」出演 ○講話(13:00~14:00) 演 題 「国際収支表の見方」 講 師 足 立 祐 一 氏 日本銀行国際局国際収支課企画役 ○研究発表(14:10~14:40) 「金融をテーマにした授業実践について」 大久保 博史教諭(岩見沢西高校) ○実践報告(14:40~15:40) 「学校経済教育論をめぐって」 越田 年彦教諭(東京都立松が谷高校) ○学習会報告・教材紹介・実践事例集紹介(15:50~16:10)				